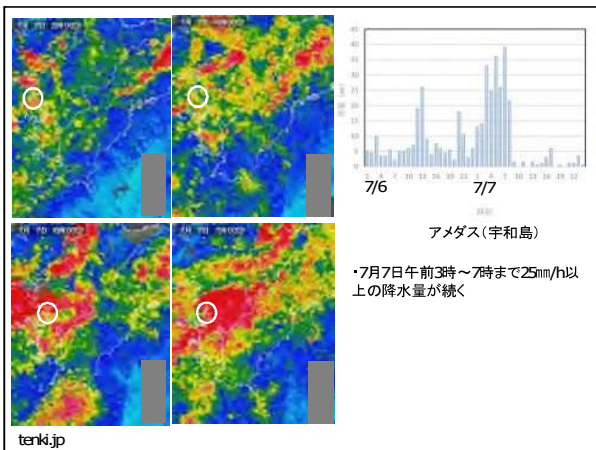
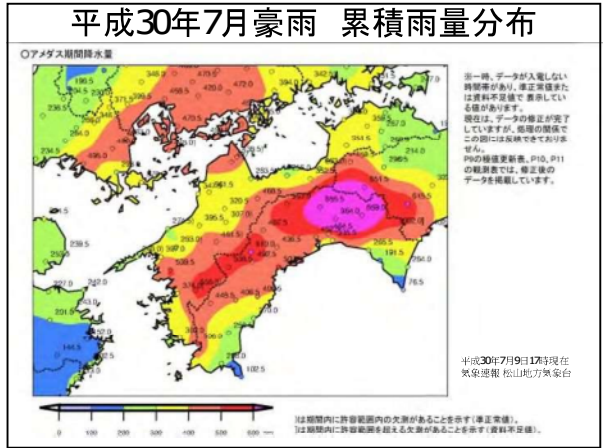


5. 宇和島市吉田町ため池決壊と住民の避難行動 応用地形学委員会 野々村敦子（香川大学）

## 宇和島市吉田町ため池決壊と 住民の避難行動

野々村敦子(香川大学)  
稲垣秀輝(株式会社環境地質)

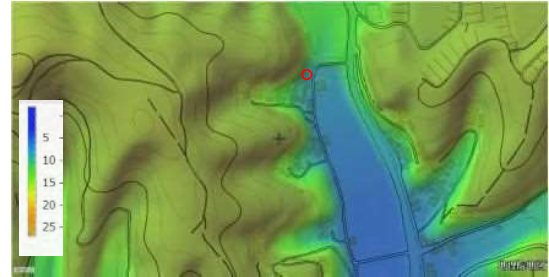


## 避難行動



- 4:30頃から豪雨
- 6:00 車4台を高台に退避
- 6:51 ため池越水
- 7:07 ため池一部破堤
- 7:44 ため池破堤
- 7:45頃 大丈夫かどうか見に来てくれた支谷奥の高台の知人宅に避難した
- 8:00頃 谷奥の家裏の崖で崩壊、水・土砂が流れてきた
- 8:19 避難場所では危ないと判断し、自宅に戻り、蔵の2階に避難

## 地形と避難行動



- ・ご自宅は谷沿いではないが、標高が低く、ため池決壊の危険性がある
- ・ため池決壊による浸水から避難した支谷奥の家裏は、谷沿いに位置するため土石流の危険性がある

⇒自宅の蔵の二階への垂直避難が適切であるといえる



ため池の決壊および土石流からの避難場所 ⇒ 蔵の2階

- ・ 30cm程浸水
- ・ 蔵内部は浸水しなかった

## 過去の災害に関する知識

- ・ 昭和18年の大雨でも浸水被害、八幡神社の階段が7段目まで水没 ⇒ 今回の大雨でも同様に浸水



## 減災に通じる地域の言い伝え

- ・ 谷またぎに家を建ててはいけない
- ・ 米を作る場所には昔は家を建てさせてもらえなかった



## まとめ

- ・ 地域の過去の災害の歴史、昔からの言い伝えなどが伝承されることで、地形や土地利用の観点から、減災に繋がる行動を促す効果があることが分かった
- ・ 地形への理解を深めることが減災・防災への大きな一歩であることが改めて示された

謝辞:

本研究は、応用地質学会四国地区災害調査団として実施した。  
調査にご協力頂いた鳥首池周辺にお住まいの方々および団員各位に感謝の意を表す